岩手県立盛岡農業高等学校

令和7年度 年間指導計画

整理番号 4

A科:動物科学科　B科:植物科学科　C科:食品科学科　D科:人間科学科　E科:環境科学科

教　科	国語	科　目	文学国語	単位数	3	学年・学科	3学年・全学科
教科書	第一学習社「標準　文学国語」	副教材	第一学習社「標準文学国語　学習課題問題集」、数研出版「プレミアムカラー国語便覧」、啓隆社「テスト式国語常識の総演習」、尚文出版「国語必携パーフェクト演習」				

学習目標	・近現代の優れた文学的文章に触れることにより、多様な見方や考え方を深め、的確かつ効果的に表現する資質能力を育成する。 ・共感したり想像したりする力や創造的に考える力を養い、他者と伝え合う力を高め、更に自分の思いや考えを深めることができるようにする。
学習方法	・様々な文章を読み、文章の特色や構成、内容に沿って読みを深めながら読解力を養います。 ・テーマに応じて、自分の考えをまとめたり話し合いをすることで、思考力や表現力を伸ばします。 ・副教材や小テスト、定期考査により、知識・技能および思考・判断・表現の力を確認します。

学習評価		評価の観点	評価の観点の趣旨
	a	知識・技能 （専門教科は知識・技術）	・社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。 （言葉遣い、文の組み立て、漢字、語句、文学史、読書などについて）
	b	思考・判断・表現	・近現代の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。 ・相手や目的に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。深く共感したり豊かに創造したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者と関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
	c	主体的に学習に取り組む態度	・言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方感じ方考え方を深めようとしている。言葉のもつ価値への認識を深め、言語感覚を磨き、国語の能力を向上させようとしている。

		重み付け	考査	考査外
		100%	50%	50%
前期中間	知識・技能(技術)	35%	15%	20%
	思考・判断・表現	45%	35%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	20%	0%	20%
		100%	50%	50%
前期末	知識・技能(技術)	35%	15%	20%
	思考・判断・表現	45%	35%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	20%	0%	20%
		100%	50%	50%
後期中間	知識・技能(技術)	35%	15%	20%
	思考・判断・表現	45%	35%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	20%	0%	20%
		100%	50%	50%
後期末	知識・技能(技術)	35%	15%	20%
	思考・判断・表現	45%	35%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	20%	0%	20%

学期	単元名 （題材）	学習内容 （小単元）	評価の観点 a	評価の観点 b	評価の観点 c	単元の評価規準	評価方法
前期中間	○現代の小説（三） 「旅する本」	・短編小説の特色を理解し、本との再会を繰り返すたびに実感される「私」の変化を読み取る。	○	○	○	・場面の展開と登場人物の心情について理解しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・授業ノート ・授業プリント ・提出課題 ・小テスト ・定期考査
	○近代の小説（二） 「清兵衛と瓢箪」	・清兵衛と大人達の瓢箪に対する考えの違いを通して、価値判断や評価について考えを深める。	○	○	○	・作者の描写のしかたや特徴を的確に捉え、そこから清兵衛の性格や特徴を理解しようとしている。	
	○テスト式国語常識の総演習	・問題演習を通して、語彙力の再確認を行う。	○			・常用漢字の読み書きがしっかり身についている。	
前期末	○近代の詩 「こころ」ほか	・多様な表現を通して、詩の内容と韻律、登場人物の心情を深く味わう。	○	○	○	・それぞれの詩を通して、近代詩の形式や言葉の遣い方、思想の変遷を理解しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・授業ノート ・授業プリント ・提出課題 ・小テスト ・定期考査
	○戦争と文学（二） 「夏の花」	・「私」の移動とともに場面が変わる文章展開を把握し、各場面における「私」の心情を読み取る。	○	○	○	・表現の工夫から場面の状況を正確に把握し、「私」の心情を的確に理解しようとしている。 ・自分の考えをまとめ表現している。	
	○パーフェクト演習	・語彙力を養成する。	○			・演習を通して語彙力を身に付けている。	
後期中間	○近代の小説 「夢十夜」	・幻想的な世界を構築する言葉と、それによって構築される幻想的な世界の雰囲気を味わう。	○	○	○	・表現に即して小説を丁寧に読み味わい、そこに展開する独自の世界を理解しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・授業ノート ・授業プリント ・提出課題 ・小テスト ・定期考査
	○現代の小説（四） 「ひよこの眼」	・作品中の表現に注意しながら、「私」が幹生の目が見つめていたものに気づくまでの心情の変化を把握する。	○	○	○	・語り手「私」の体験を通して、生と死についての見方、感じ方、考え方を深めている。	
	○パーフェクト演習	・語彙力を養成する。	○			・演習を通して語彙力を身に付けている。	
後期末	○現代の小説（四） 「卒業」	・仕事に向き合う態度と友人への思いがどのように変化するかを捉え、主人公にとっての「卒業」の意味を考える。	○	○	○	・主人公の行動と心情を理解している。 ・小説のテーマを深め、自分の経験も踏まえてながら人間関係や友情について考え、まとめることができている。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・授業ノート ・授業プリント ・提出課題 ・小テスト ・定期考査
	○創作をする 「物語を創造する」	・文体や表現の技法に注意して、人物の心情や情景を描写する方法を学ぶ。 ・読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫する方法を学ぶ。	○	○	○	・筆者の問題意識を的確に理解し、自分の文章の特長や課題を把握している。 ・創作活動や批評活動に積極的に取り組んでいる。	
	○パーフェクト演習	・語彙力の再確認を行う。	○			社会人としての語彙力を習得している。	